



横浜市立松本中学校 学校だより

第9号

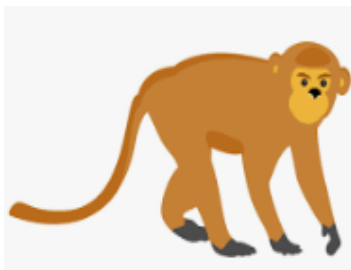
令和7年1月24日
横浜市立松本中学校

あ お い く ま

校長 間邊 浩二

先日、神奈川県内で「左手のない猿」が目撃されたとのニュースがありました。これと同じ猿と思われる目撃情報は、昨年2024年10月頃から関東地方で相次いで確認されていました。12月20日には山梨県富士河口湖で確認されてから関東を離れたのではないかとされていたのですが、新年になった1月4日には神奈川県、相模原市で、翌日5日には東京、多摩市で目撃されていましたし、その後の横浜市神奈川区での目撃情報以降も川崎市内で15件以上も確認されていました。

そうすると20日間ほどの間に行動範囲として約100kmを移動し、Uターンをしていることになるわけです。なぜこのような移動をしているのか詳しいことは不明ですが、野生の猿が餌を求めて山から都会に出てきて、食べ物を探しながら放浪しているようにも思えます。こうした動物を見かけたときは決して近づいたり、目を合わせたり、さらには挑発するようなことはとても危険なので十分注意してください。



また、ここ数年では、猿の話題以上に町中に現れる「熊」のニュースも多く耳にするようにもなりました。

こうした熊のことを「アーバンベア」(都会の熊)と言うそうで、こちらも本来、山奥に生息する熊が、気候変動による影響で、餌になるドングリや木の実が不作になり、餌となるような生ゴミや、家畜の飼料、畑の作物を求めて人里に出没してきたのではないかと考えられています。熊は猿よりも大きく力もあるため人間にも危害を加えることもあり、危険な動物とされています。私たちの生活する横浜市までは熊が目撃されることはさすがにありませんが、今まで熊の目撃されていなかったところにも現れてくることもあるので、決して油断をしてはいけないことかと思えます。



さて、今回の学校だよりのテーマは「あおいくま」です。この「くま」を目撃した人はいないのです。それもそのはず、この「くま」は動物ではありません。「あ」は「あせるな」、「お」は「怒るな」、「い」は「威張るな」、「く」は「腐るな」、「ま」は「負けるな」の頭文字なのです。

「あおいくま」という言葉は、まさに今の私たちにとって大切にしたい思いが込められているように思えます。

例えば、私はこの学校だよりの原稿を書く時など、締め切りが近づいてくると、「まだ書けていない、どんなことを書こうか、どうしよう！」などとあせってしまうことが多いです。まるでテスト直前になっても対策ができていなくてあせることと同じです。そうならないために日頃からこつこつと準備していればいいのにと反省することばかりです。きっとそうすればもっと豊かに過ごせるのかもしれませんが、「怒るな」はもちろん、何か不都合なことがあってもすぐに「カッ」と怒ることを我慢してみることも大切なものわかります。「威張るな」は、いつも威張っている人は、他の人からは距離を取られたり、信頼度も下がってしまいがちです。「腐るな」はうまくいかなくてもふて腐れたりしないこと。「負けるな」も確かによく使われますが、この言葉は「競争に負けるな」という他の人やものと比べて「負けるな」という意味ではなく、「自分に対して負けるな」という意味をもっているのです。「自分をもっと良くしよう」、「自分をさらに高めていこう」としたとき、「自分に負けない」、妥協しない自分に向けた言葉なのだなと思っています。

【2月行事予定】

日	曜	行事	日	曜	行事
1	土		16	日	
2	日		17	月	1・2年学年末テスト①
3	月	3年学年末テスト	18	火	1・2年学年末テスト②
4	火		19	水	1・2年学年末テスト③
5	水	一斉下校	20	木	
6	木		21	金	卒業遠足(3年生)
7	金		22	土	
8	土		23	日	天皇誕生日
9	日		24	月	振替休日
10	月	専門委員会14:50	25	火	特別委員会14:50
11	火	建国記念の日	26	水	一斉下校 球技大会(3年生)
12	水		27	木	全校評議会14:50 芸術鑑賞(3年生)
13	木		28	金	公立高校共通選抜合格発表
14	金	新入生保護者説明会/公立高校共通選抜学力検査			
15	土				

松本中ブロック小中交流会開催



先週16日(木)本校を会場として、三ッ沢小、南神大寺小を加えた「小中一貫教育推進ブロック」にて、小中交流会を開催しました。

この冬一番の寒さの中、来校いただいた小学校の先生方には5時間目の授業をみていただき、9年間で育てる子ども像「まちやひとと温かくつながり、みとめ合い、みらいを拓く子ども」をもとに指導観、授業観、評価観を共有し、ブロックにて育てたい資質・能力について意見交換をしました。各教科に分かれた協議会場では、授業での具体的な場面や活動について多くの質疑応答があり、会場によっては終了後も残って意見を交わすなど、学区の児童・生徒に対して共通のイメージをもって教育活動にあたっていこうという姿勢の確認と、すり合わせを行うことができました。

<2月のスクールカウンセラー開室日>

○佐藤 文彦 先生

(1/31(金))

7日(金)、14日(金)、

21日(金)、28日(金)

○西澤 友永 先生

(1/29(水))

5日(水)、12日(水)、

19日(水)、26日(水)